

会 議 録

会議の名称	令和4年度 美郷町花水流地区住民説明会
開催日時	令和4年11月8日(火) 18時30分 ~ 19時40分
開催場所	美郷町花水流集会センター
出席者	花水流地区長：小野 様
	花水流地区住民：他28名(男性：19名 女性：9名)
	美郷町長：田中秀俊町長
	美郷町町民生活課(担当)：田村課長、甲斐主幹、中田主任主事、瓶田主事
	構成市町村：鈴木課長(日向市) 甲斐課長、黒木主査(諸塚村) 黒木課長(椎葉村)
	広域連合：吉田事務局長、田中補佐、黒木係長、尾前主査
	建設技術研究所(コンサル会社)：林室長、池田主任
議 題	別紙のとおり
会議資料 の名称 及び内容	・資料1 次期広域最終処分場候補地選定に係る説明会
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

1 開会

2 あいさつ（美郷町長）

美郷町長からあいさつ。

参加者の紹介

（美郷町役場町民生活課（担当）／田村課長、甲斐主幹、中田主任主事、瓶田主事）

（構成市町村／日向市環境政策課：鈴木課長

諸塚村住民福祉課：甲斐課長、黒木主査 椎葉村税務住民課：黒木課長）

（広域連合／吉田局長、田中補佐、黒木係長、尾前主査）

（コンサル／林室長、池田主任）

3 説明（進行：美郷町町民生活課 中田主任主事）

説明会次第

- ・次期広域最終処分場用地選定に係る説明会（資料1）

【事務局】 （資料1「次期広域最終処分場用地選定に係る説明会」について、資料内容に沿って説明する）

【司会】 これより質疑応答を始めていきたいと思います。ご意見のある方は挙手のうえ、一問一答形式でお願いします。

それでは、何かご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか？

【地区住民】 今回の用地選定結果について、記者発表から知った方々が多いと思うが、建設が決まったような誤認識が多くあり、これは当地区に限った話ではないという懸念がある。

本日の説明会も含めて、今後は住民の理解を得ることが一番重要であり、先ほど瓦版やホームページ等で周知を図るという説明があったが、（不在者や）ネット環境のない住民も含めて、いまだ内容を知らない方々が多くいると思う。このような説明会の場を設けることは非常に重要であると思うが、この先、当地区や流域の方々だけでなく、美郷町全体としての理解も得ながら進めていくべき事業であると考えている。

ごみ処理は、大変重要なことであると理解しており、見学会の際にも十分な対応をされていることを確認したところである。アンケート調査結果について、概ね理解を示しているという説明があったが、理解していることと賛成しているということは、また別の問題であると思う。その辺りの表現が重

要になってくると考えているが、どのような見解かお聞きしたい。

【事務局】

ご意見のあった内容については、そのとおりであると思います。先ほどのスケジュール説明でありましたとおり、今回決定したのは最終候補地ということで、建設が決定するのは令和9年度に予定している建設同意のところで皆様にお諮りした上で最終的に決定をさせていただきます。

もう一つ、その前段で令和5年度に基本同意といって測量設計や現地の詳細調査を進めてよいかということを確認させていただきたいと考えておりますので、これから建設が決定するまでには2つの同意を皆様からいただかなければ本当の意味で建設は決まらないということがございます。

用地選定検討委員会は、最終候補地が決定した時点で解散となりました。今後は、建設するにあたっての検討委員会ということで、外部有識者や環境団体の方など、そういった公平公正な立場で評価をいただける方々に、この計画を評価していただく考えでございます。これを建設検討委員会といたしますが、ここに地元の区長様や公民館の連合会長様、それから公募委員も募集しますので、地元の皆様がどなたでも参加できる委員会をこれから立ち上げます。その委員会で、進捗段階に応じてお諮りいただき、承認を得た上で先に進めていく段取りを想定しております。

一つ一つステップが進むごとに、役員の方や住民の皆様に対して説明会を開催し、情報開示を行ってまいりたいと思います。また、連合等のホームページや町広報などを活用し、決定事項等の情報を随時公開していき、透明性のある事業遂行に努めてまいりたいと考えております。

【地区住民】

情報公開について、広域連合だよりや町広報、ホームページ等のいろいろな方法があると思うが、先ほど話したとおり流域の方々、構成市町村の方々にも理解していただくだけでなく、意見も求めていく必要があると思うので、そういったところの環境を整えてほしいということが一つある。

また、あくまでも最終候補地として決定したものであるということ、直近の記事で掲載していただきたい。

併せて、用地選定検討委員会や正副連合長会議等の直近の議事録がまだ公開されていないように見受けられたが、例えば今日のような資料に基づき十分な説明を委員会や会議の中で行っているのか伺いたい。

【事務局】

まず、周りの方々への説明を行うというご意見につきまして、我々としては第一に花水流地区の皆様にご理解をいただくまでは、周りの方々への説明は控えた方が良く考えております。これは、まだ地元住民の方々十分に理解されていない状態で、周りの方々や関係団体等からのご理解をいただき、その上で地元住民の方々の判断を得るとするのは順序が逆転してしまい、かえって地元住民の方々からのご理解が得られにくくなるのではないかと

と考えているからでございます。

今年度に関しましては、地元住民の方々を中心に説明を重ねていき、来年度以降で周りの方々や利害関係のある方々に説明範囲を広げていきたいと考えているところでございます。

また、町広報等に最終候補地として決定したものであるということを掲載することにつきましては、今現在すでに準備を進めており、美郷町の広報は12月号に掲載される予定となっております。

議事録に関しましては、会議終了後の議事録を作成するのにも時間がかかることは当然ですが、作成後に委員等の皆様方にご確認いただく時間も必要ですので、公表まで少々時間をいただきたいと思っております。近いうちにホームページにて公表できると思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

【地区住民】 令和5年度に予定している基本同意について、例えば我々の地区総会にて議案として提出した上で議決を取るだけでいいのか、関係する団体等全てからOKという返事をいただいたら同意とみなすのか、そういったところの流れを教えてほしい。

【事務局】 同意の取り方につきまして、花水流地区との基本同意を得ることになります。例えば地区総会で過半数以上の賛成があれば同意とみなすといったように、どのような形で決定していくべきかということは、今後皆様との協議の中で決めていくこととなります。

【地区住民】 今現在、当地区では定住促進に向けた対策を検討中である。その対策の考え方を整理するにあたって、町が運営する集落排水施設が（既に）あり、（最終処分場建設と相まって）イメージが少し落ちるような気がしている。

町にもお願ひしたいが、当地区では集排施設の周囲の環境配慮として、花を植えてはどうかという検討をしたが、台風の影響で（計画が）止まっている状態であるので、景観対策の一環として町にも何か配慮をしていただきたいということが一つある。

また、最終処分場という表現がイメージ的にあまりいいものではないと思うので、名称を変えるなど（イメージアップにつながる）検討をしていただきたいと思っている。当然、当地区からもそういったところの提案をしていく必要があると考えているが、（事業側の）皆さんもそういった配慮を行うような検討策を考えていただきたい。

【事務局】 最終処分場という言葉はあまり聞き慣れず、良い印象も持たれないことが多いと思っておりますが、これは単に法律で決まっている名称でございます。

日向市にある清掃センターではごみの焼却を、細島にあるリサイクルセンターでは粗大ごみを分別してリサイクルを行っておりますが、これを中間処理といいます。この中間処理で残ったもの、例えば清掃センターからは焼却

灰、リサイクルセンターからはリサイクルできずに残ったごみを最終処分場に埋め立てるということでございます。

全国的に、最終処分場を建設する際、別に愛称を決めている事例が多くあります。今後事業を進めていく中で検討していきたいと考えております。

また、公共施設ではありますが景観には十分配慮したいと考えており、メインとなる道路からは出来る限り見えないよう、建物の配置や形状、色調などを検討するとともに、植栽に関しても緑の多い施設にする等の対策を行っていく考えでございます。

これはまだ先の話となりますが、詳細な設計を行う際に地元の皆様のご意見をいただきながら決めていきたいと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

【地区住民】 説明の中で、地域振興策の話があったが、スケジュールの中でどのあたりからになるのか教えてほしい。

【事務局】 先ほどの説明の中で参考として申し上げた地域振興策の内容は、あくまでも全国的な事例であり、今回の次期最終処分場については何も決まっておらず、今後の協議の中で決めていくことになります。

よって、基本同意を得た後から協議を重ねていき、その都度基本計画や基本設計を作成し、取り決めた内容を協定書という形で取りまとめた上で、これに同意いただいたものが建設同意ということになりますが、建設同意の内容を実施設計に反映させたのち、動き始める形になると考えております。

【地区住民】 ということは、地域振興策が活用できるのは令和 10 年度以降ということになるのか。

【事務局】 これは、今現在での概略のスケジュールですので、まだ詳細なところは決まっておられません。地元の方々と協議を進めながら、いつから地域振興策を始めるのか、場合によっては前倒しで始めるケースもあるかもしれませんが、そこに関してはこれから協議をさせていただきたいと思ひます。

【地区住民】 まずは当地区から理解をいただくということであるが、先ほど意見があったとおり周辺地区の住民からも理解を得る必要があると思ひます。地図上でいくと、当地区よりも仮迫地区の方が全体的に入るような候補地となっているので、そちらの方にも説明会や会議等を実施していただきたい。

【事務局】 ご意見ありがとうございます。周辺地区や関係団体等への説明や会議については、次年度以降で順次広げていく考えですので、そのように対応したいと思ひます。

【地区住民】 先ほども意見があったとおり、花水流地区だけで決定する事項ばかりではないと思ひます。連携や情報共有、協調といったことも必要になると思ひますので、機会を見て、美郷町と連携してしっかりと実施していくようお願いしたい。

次に、資料の中の航空写真に距離を示す円状の線があると思う。今後、(生活)環境影響調査を行うと思うが、施設が設置された際の影響範囲、例えば臭いや騒音、水質などいろいろと出てくる中で、どの範囲までを想定しているのか。

【事務局】 ご意見いただいた内容については、基本同意を得られた後になりますが、生活環境影響調査を実施することが法律で定められております。その中で、多様な調査を行っていくこととなりますが、どこまで影響があるのかというのを示して、その影響にしっかり対応できるかどうかということで計画を立てていくこととなりますので、細かい所はそういった段階で数値化していくこととなります。

【事務局】 先ほど、臭いや騒音等の話がありましたが、今回ここに来られている方々の中には現最終処分場の見学会に参加された方もいらっしゃると思います。現地でご確認いただいた方々はお分かりになられたと思いますが、臭いは全くありませんし、周辺住民の方々からもそういった苦情等はなく、また聞いたこともないという状況です。

排水につきましても、排水基準を遵守するため浸出水処理施設という浄水施設を建設し浸出水を処理しますので、排水時点ではすでにきれいな水となっております。耳川の水質結果と比較しても、現最終処分場からの排水は同等以上であるという結果でございます。

今回、我々が計画している施設におきましても、同じような形式になることと思いますが、現最終処分場よりも最新の技術により建設しますので、そういった点では格段に向上するものと考えているところです。

【地区住民】 現在、候補地に選定されている地区は小川吐組合が中心となっているが、隣接する地区に小田組合というところがある。そこは、候補地から水源として利用していた経緯があり、利用しなくなった今でも導水管等が埋設されている状況であるため、調査の際には十分に留意していただきたい。

【事務局】 今後、候補地において地質調査や測量等の予備調査を行っていきたいと考えておりますので、ご意見いただいた内容を念頭に置いた上で、しっかりとした調査を行い、基本同意を得た後の設計に反映したいと思います。

【司会】 その他、何もご意見等ないようであれば質疑を終了させていただきたいと思います。…ご意見等はございませんでしたでしょうか。

それでは、挙手の方もないので、ここで質疑応答を終了したいと思います。大変貴重なご意見ありがとうございました。

続きまして、本日の説明会を踏まえて、最終処分場の選定や今後のスケジュールなどに関してご意見等ありましたら、日向東臼杵広域連合業務第1係もしくは美郷町役場町民生活課までお問い合わせいただければと考えてお

ります。

また、日向東臼杵広域連合のホームページのお問い合わせフォーム、資料の最後のページにありますQRコード、もしくはホームページの方からもアクセスできるような状況となっております。

これまでの、用地選定に係る資料も公表させていただいておりますので、ご確認いただければ幸いです。

それでは、以上を持ちまして次期広域最終処分場用地選定に係る住民説明会を終了させていただきたいと思っております。本日は貴重な時間をありがとうございました。

～ 閉 会 ～